



# 水害発生時における避難時の心得

## ■非常持ち出し品を準備しておきましょう

避難所の備品には限りがありますので、自らが十分な準備を  
すると安心です。両手の空くりュックサックに非常持ち出し品を  
準備しておきましょう。

- 携帯ラジオ □非常食 □水 □懐中電灯・電池 □衣類
- 生活用品 □救急薬品 □雨具 □ヘルメット □現金 □貴重品



## ■早めの避難を心がけましょう

浸水してからの自宅外避難は危険です。降雨や河川  
水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難勧告  
を待たずに自主的に避難を開始してください。



## ■やむなく浸水の中を歩かなければいけない時の注意

■はん濫水は濁っていますので、水  
の中の障害物に注意しましょう。

■はん濫水は勢いが強いので、危  
険です。



## ■避難先・避難ルート・避難方法を確認しましょう

浸水に対して安全な避難先とルートを平時から  
家族や地域で確認しておきましょう。

また、自家用車での避難は、緊急自動車の通行を  
妨げるとともに、交通渋滞に巻き込まれる可能性も  
ありますので、やめましょう。



## ■ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わぬ事態に合った時に危険  
です。避難する前に隣近所に声をかけ、集団での  
避難を心掛けましょう。

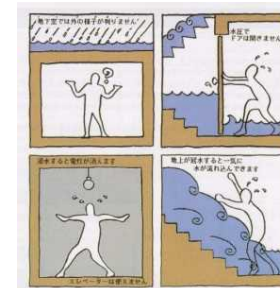


## ■避難所での注意

水害時に開設される避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在す  
ることになります。大声を出したり、騒いだり他人が深いに感じるような言動  
は控えましょう。互いの気遣いが大切です。

## ■地下街等にいる方は、浸水に注意しましょう

地下街等にいる方は、地上の状況を把握しにくかったり、避難経路が限定されたり、  
地上が冠水すると一気に水が流れ込んできますので、浸水には注意しましょう



テレビ、ラジオやパソコン等から常に最新の気象情報を収集しましょう。



避難場所や安全な避難ルートを確認しましょう。



動きやすい格好で、荷物は最小限にしましょう



洪水氾濫は勢いが強い



洪水氾濫は、勢いが強く水深が膝程度あると大人でも歩くのが困難です。  
緊急避難として、高い堅牢な建物にとどまることも選択肢の一つです。

水面下は危険です



一人での避難は避け、近所で声をかけ合い避難しましょう。





# 水害に備えた避難時の心構え

懐中電灯、携帯ラジオ＋予備乾電池、非常食



ロープ、ちり紙(ティッシュ、トイレト  
ペーパー)、ドライシャンプー、ローソ  
ク・マッチ



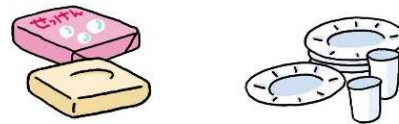
タオル、貴重品、救急セット(常備薬)、衣類・下着類



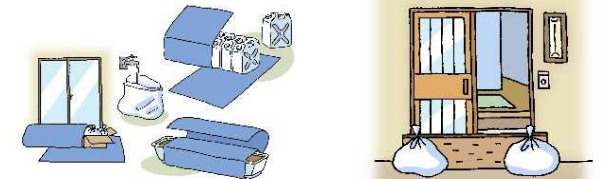
育児用品、ヘルメット、軍手、携帯ナイフ



石鹸、使い捨て食器



家庭でできる簡易水防



家のまわりを点検・整備を



家の前の排水溝が詰まっていないかの確認や  
風で吹き飛ばされる物の撤去等が必要です。

浸水深が小さいときは、家庭にあるものを使っ  
て、水の侵入を減少させることができます。  
大きめのゴミ袋やポリタンク等に水を入れて、  
水の侵入口となるところに並べます。  
プランターをつなげて水の侵入口となるところ  
に並べます。  
長めの板と土嚢で臨時の止水板を作ります。